

つた
伝えよう
いのち
命の尊さ
ほとけ
佛の心
こころ

花園会報 東園

令和2年7月28日発行

東園お盆号
宗教法人東園寺

宗教法人 東園寺
〒985-0026 塩釜市旭町4-1
022(362)0777 寺務所
022(364)4444 寺FAX
022(362)8651 中央幼稚園

学校法人 東園寺学園
〒985-0012 塩釜市芦畔町13-51
022(365)5616 第二中央幼稚園



謹啓 時下盛夏の候
檀信徒各位にはこの度の新型コロナウイルス
禍に際して、様々にご苦勞がお有りと存じ
ます。

5月14日の緊急事態宣言解除、6月19
日の県をまたぐ移動等の外出緩和と徐々に
日常を取り戻しつつある昨今ですが、これに
伴い新たな感染者の情報が多数耳にされる
ようになりました。各位におかれましては、
何卒慎重に日常をお過ごし頂く様お願い致
します。

本日「東園寺」お盆号を送付致します。お盆
期間中のウィルス対策に関するお知らせが
ございます。是非ご一読の上、お盆をお迎えく
ださい。

時節柄何卒ご自愛くださいます様祈念申
し上げます。 謹白

令和2年7月

東園寺住職 千坂成也

■精霊札送付のご案内

精霊札はお盆の本尊、七如来

本年は新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、ご先祖様をお祀りしている檀信徒の皆様すべてに精霊札を同封致しております。

精霊札は施餓鬼棚か仏壇正面に

精霊札は餓鬼を救う働き

を担う七如来名号で、お盆中の施餓鬼棚やご仏壇に祀って頂くものです。東園寺では伝統的に12日にお札を開眼し、13日より授与し、16日に返納して頂いて精霊送りにて総供養を致しておりますが、この度の新型コロナウイルス禍と社会情勢を考慮し、本年は郵送とさせて頂きました。

精霊札のご返却は8月23日まで

檀信徒各位にはお盆中、ご安置頂いた精霊札を8月16

日(23日)までに寺務所へご返却頂ければ、翌日24日の地藏菩薩の縁日に供養を申し上げます。

お盆の布施(※)などは精霊札返却の際にお供え頂ければ幸いです。粗品を準備致しておりますので宜しくお願い致します。

※お盆の供養の金封は赤帯で結構です。金封には「お布施」「盆札」「お中元」等とお書きください。中元は道教で7月15日のことで仏教の盂蘭盆会と混淆して仏に供物を供える日となったものです。

令和2年度お盆の行事

精霊札(七如来名号) 開眼法要 7月14日に厳修しました。

お墓掃除

8月8日より12日まで
・各ご家庭の墓地の清掃は



昨年の精霊迎え
今年は三密を避けて行います

各々で行って頂きます。お盆の期間が始まる前に墓地の清掃を行いましょう。

・寺の維持費で行うのは危険
樹木の伐採や通路の清掃となります。

■精霊迎え法要

8月12日午後6時

本堂に参拝者が密集することを避ける為、参拝者限定の上で実施します。各ご家庭お一人様でお参りください。例年行う行道(蠟燭を持って歩く法要)は中止です。蠟燭は例年通り差し上げます。

■新亡供養

8月14日午前10時、午後1時、午後3時

こちらも本堂に参拝者が密集することを避ける為に3座に分けて実施します。新亡供養に該当するご家族には郵送でご案内申し上げます。ご逝去の月日により、法要時間を振り分けますので、ご了承くださいます。一霊位につき2名までのご参加と致します。

■精霊送り法要

8月16日 中止

■地藏盆

8月24日 本年は寺内僧侶のみの法要です。

■地藏流し法要 中止

■花塔婆(盂蘭盆会供養塔婆)

一体700円 8月1日より受け付けます。今年はあるべく予約をしてください。

予約無しでお書き出来るのは8月13日(16日)までです。



5月1日大回向

「窮じて変じ、変じて通ず」 「コロナ禍で感じたこと」

世界的に猛威を奮っている新型コロナウイルス。日本の緊急事態宣言は解除されましたが、外国では一度感染が収まってから再び感染が拡大した例もありますから、まだまだ油断してはいけません。とは言えこのまま「疑わしきは自粛」の状態では経済が崩壊してしまいます。経済の崩壊は周り回って生命の危機に通ずることも多々ありますか

ら、私達は用心しつつ社会を動かすべきなのでしょう。

さて新型コロナウイルス感染防止の為に本格的に自粛ムードが高まった3月以降、様々な憶測や不確定な情報が入り交錯し、マスク不足、消毒液不足、感染防止の防護服不足、そして何故かトイレトーパー不足！これに不安を煽るメディアが拍車を掛ける悪循環……。テレビの報道は、かなり不正確なものも多いと実感、いわゆるワイドショー的なものを見る習慣は消え去りました。

35万人（6月8日時点）以上の尊い命を奪った新型コロナウイルスは私達に様々な教訓と生活の変化をもたらしました。「絶対だ」「必要だ。」と思えた習慣や産業のいくつ

かがこれを機会に消滅するとも言われます。我々に身近なところでは法事後の会食等がそうですし、さらに年忌法要もやらなくて良いのでは？などという空気もひしひしと感ぜるところです。しかし年忌法要は亡くなられた方の供養と同時に自分自身を振り返る大切な儀礼ですので是非実施して頂きたいものです。

一方、自粛期間が自分自身を見つめ直す良い時間となったという声も耳にします。私自身も普段何気無く過ごしていた日常の尊さに改めて感謝出来ましたし、外食したり家族で出掛けたりするのが如何に有り難いことかを実感しました。皆さんは如何だったでしょう？東園寺に関して言えば「花祭りの夕べ」「大回向」という年間行事の柱とも言え

る法要が寺内のみ厳修となり、法事会席も皆無でしたので布教活動、経営の両面でコロナウイルスの損害はあったのですが、これも震災後に肥大し過ぎた行事やイベントを見直す良い機会だったのかもしれない……。

全快には程遠い日本の経済状況ですが「窮じて変じ、変じて通ず」という言葉もあります。ピンチをチャンスに変える柔軟な発想をお持ち頂き、逆境を上手く活かして頂きたいと願います。



6月19日塩竈港開港恩人
伊達綱村公毎歳忌速夜



花鳥画
小池曲江筆

曲江居士が
34歳の暮れ
に描いた作品
であると考え
られます。印
譜は「字子翼」

末筆とはなりますが、新型コロナウイルスで亡くなられた方々の御霊のご安寧を心より祈念申し上げます。

(瑠璃光令和2年6月8日発行の記事です。東園寺ホームページでは過去に発行した瑠璃光をご覧頂けます。)

寺庫紹介

仙台藩四大画家の一人で塩釜出身の絵師、小池曲江居士による花鳥画です。署名に「辛亥嘉平寫于竹巖小院云々」とあり、曲江居士の活躍期から、寛政3年、嘉平は中国で、陰暦12月に行なわれた祭の名で臘祭(ろうさい)、転じて12月の異名とされますから、

とあります。

作品は非常によく書き込まれた美しい作品ですが、詳細は不明。『小池曲江の絵画』に掲載される最も若い時代の作品は寛政4年で、この作品はさらに1年前の筆と思われる。

東園寺ホームページでは200点近くの當山所蔵の書画を紹介しています。是非ご覧ください。

塩竈絵図屏風

當山所蔵塩竈絵図屏風の相棒が見つかりました。

瑞巖寺奉職以来、同寺宝物館に置いてあった外国人用の

松島ガイド本表紙の松島絵図の画風が當山所蔵の塩竈絵図と似ていると気になっていた小柄でしたが、先日、松島教育委員会のご協力を得て、瑞巖寺宝物館学芸員、東北歴史博物館学芸員の立ち会いのもと両作品を比べ比較調査を行ったところ、間違いなく一双眼風であることが確認されました。この資料はインターネットオークションで見かけ、鹽竈神社の社殿が肯山公による修繕以前の配置であったことから購入したもので、入手時からこの片割れである松島図があると確信しておりましたが、この度、長い間別れ別れになっていた塩竈松島図を引き合わせる事が出来、塩竈松島図コレクターの小柄は感無量であります。いずれ何処かの博物館で両作品が並んで展



比較調査の様子。画面左が塩竈図(東園寺所蔵)
右が松島図(松島町所蔵)

示されるのが楽しみです。
☆稲荷不動堂大祭は10月22日寺内僧侶のみで厳修致します。
護摩祈祷ご希望の方は寺務所までお申し込みください。
護摩木 1体500円
☆坐禅会は7月より第2週、第4週の日曜日に開催しております。
いずれも開催時刻は午前7時〜7時45分です。